

# 第6期 子どもの司書講座 新聞 第6号

## 本の装備にチャレンジしよう!

第6回目は、ブックコートについて学習しました。ブックコートは、図書館の本にはられているとめいめいなカバーのことです。とめいめいなカバーはシールフィルムになっていています。お家にある本に、図書館の本のように、ブックコートがはられていることはあまりないかもしれません。なぜ、ブックコートをはっているのでしょうか？

図書館の本は、いろいろな人が読んだり、調べものに使ったりするので、汚れてしまったり、こぼれてしまったり、汚れてしまったり、大切に、たくさんの人に使うてもらえるように、図書館では本にブックコートをはっています。こうすることで、傷や汚れから本を守ったり、太陽光、蛍光灯などによる本の色あせや日焼けなどをふせぐ役割もあります。

左の写真のように、いろいろな種類や大きさがあります。本の大きさに合わせて使い分けま

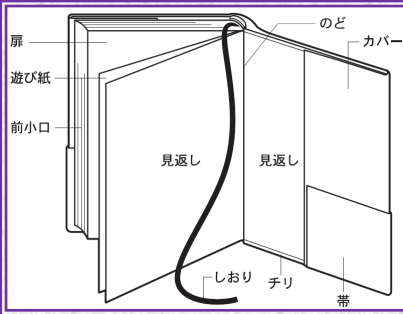
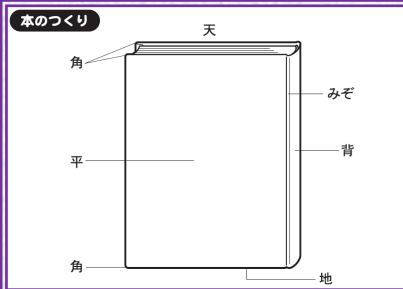
どうしてブックコートを貼るの？



### 道具の準備

- ・定規 (30cmくらい)
- ・カッターまたはハサミ
- ・カッターマット (なるべく大きいもの)
- ・ブックコートフィルム
- ・本! (練習用も用意)

### 本の仕組み

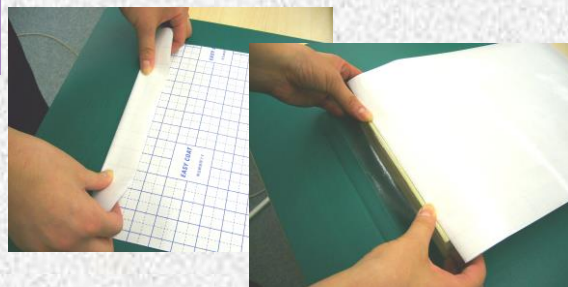


それでは、どのようにブックコートを貼るのか見てみましょう。最初はとめいめいなく感じるかもしれませんが、なれてしまえばかんたんです。また、いろいろなやり方がありますが、今回は、図書館と同じ方法を説明します。まずは道具の準備です。お家の本にブックコートを貼りたいなと思ったら、街のホームセンターやインターネットでも購入できますので、お父さん・お母さんに相談してみてもいいですね。本は、失敗してもいいように、はじめは練習用の本を用意してみてもいいでしょう。左の図のように、表紙や背、見返しなどいろいろな呼び方がありますので、この機会に覚えてみましょう。



### ブックコートの貼り方

- ①本のカバーの天と地を5mmほどカットします(4箇所とも)。
- ②本を置いてブックコートの幅を確認してカットします。
- ③ブックコートを40mmのところ折り目をつけます。折り目まではがしたら、30mmを折り返し用に残し、残りの10mmを表紙に貼ります。



- ④本を置いてブックコートの幅を確認してカットします。

